

## 序

日中文庫は、旧「日中歴史研究センター」が歴史研究支援事業の一環として国内外から収集した、近代日中関係を中心とする歴史文献のコレクションである。

「日中歴史研究センター」は、1995年度から政府の10カ年計画として発足した「平和友好交流計画」の中核事業の一つとして設立され、外務省所轄、日中友好会館運営のもとで2005年度まで存立した。そして事業終了後、その資料室収集、所蔵の全資料を国際日本文化研究センターが譲り受けることとなった。

日中文庫の資料は約3万5000点にのぼる。中でも中華人民共和国成立後の各省市、各産業別の年鑑、統計、地方志約14,000冊、1950年代から編纂された中国の中央から地方までの「文史資料」約1,000冊、中国各地の档案馆（公文書館）から収集した日中戦争史、東北（旧満州）地方史を中心とするマイクロ資料約6000点が特に注目に値すると思われる。日本国内のみならず、中国でもまとまった所蔵が少ないため、研究者をはじめ、内外の関係者に広く利用されることを希望する。

日中文庫受け入れに際しては、「日中歴史研究センター」側は故安藤彦太郎先生、尾形洋一先生、国際日本文化研究センター側は合庭惇先生に多大なご尽力を頂いた。先生方に深く感謝の意を表したい。また5年間にわたって資料の整理、登録と目録の作成にあたられた国際日本文化研究センターの関係者の皆様に心より感謝する。

平成23（2011）年3月

国際日本文化研究センター

准教授 劉 建輝